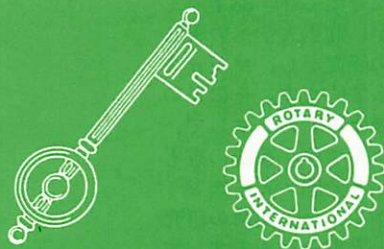


THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



なごや
ちくさ
WEEKLY

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 〒464 千種区池下一丁目4番18号
井上ビル4F D号
Tel 763-5110
会長 菊池昭元

No. 22 (1985~86)

あなたが 鍵です
You are the Key

1985~86年度

RI会長 エドワード F. カドマン

第166回例会 昭和60年11月26日(火) 晴

◇ “奉仕の理想”

◇出席報告

会員 56(54)名 出席 34名

出席率 62.96%

前回 11月19日 (修正出席率) 100%

◇ビジター紹介 9名

◇ニコボックス

成田 良治君 先日のゴルフ会で、家内が優勝しました。

鈴木 猛君 先般の5周年記念には、歴代会長幹事さんにご出席いただき、有り難うございました。

加藤 大豊君 23日勤労感謝の日、12,000人参加のイベント第1回85年名古屋シティーマラソン大会が、CBCテレビで2時間に渡り実況放映されました。この大会の実行委員長の大役を無事終了致しました。

和田 正敏君 成田さんの健康診断をさせていただきます。大変すばらしい肉体に感動しています。会員の皆様も健康に充分注意して下さい。

菊池 昭元君 名古屋シティーマラソン実行委員長の加藤さん、ご苦勞様でした。御成功を祝って。

武内 清君 本日のスピーカー名和先生を紹介させていただきます。

菅原 宣彦君 11月16日(土)成田さん、松藤さん有り難う。加藤大豊さん、シティーマラソン実行委員長ご苦勞様でした。

笹野 義春君 ご無沙汰致しておりました。

久保田 皓君 本日、遅刻しました。

◇宮尾幹事報告

1. 本日例会終了後、理事役員会を行いますので、理事役員の方は2F橋の間にお集まり下さい。
2. 次回例会終了後、年次総会を開催致しますので、全会員の方はお残り下さい。

すので、全会員の方はお残り下さい。

◇菊池会長挨拶

街路樹の木々は裸となり、落ち葉焚きの煙が漂うこの頃。各デパートではもうお正月ムードで歳暮商戦に突入り、季節も愈々冬本番へと変わろうとして居ます。

さて、世界各地では、日航機墜落、メキシコ大地震、コロンビア大噴火被災等々、近年まれな大惨事が起きて居ります。然るに今回、ジュネーブで行われました米ソ首脳会談は、世界中の関心を集め、注目された80年代最大の朗報をもたせる国際政治ショーとなりました。考えの中で基本的な相違をもつ米ソ両国が、下手な外交辞令を使わず当たって砕けるで腹を割って話し合われました。人類がこの世の中で最も恐れて居るのが核戦争であり、人間が自らの手で人類を破滅させる如き悲劇的な行為は何としても避けなければならないと両首脳が、核不戦を誓い合った事は大歓迎です。平和を望む熱意と触れ合いに「嘘はない」と信じるものであり、今后、永く世界の平和と人類の幸せを願う次第です。

この11月下旬の暖かい日を「小春日和」と申しますが、小春とは陰暦10月の別称で、現在で言えば11月上旬から12月上旬の期間に当り、もう少し季節が進むと「冬日和」「冬暖」と言う言葉が使われます。季節の春とは直接関係なく、2月や3月に「小春日和」と言うのは間違いです。西洋にも晩秋から初冬の頃同様な現象が存在し、英語では「インディアン・サマー」と言い、その由来は、「インディアンが冬仕度をしたたり、南へ移住するのに良いから。」とか「突然の暖かさが、インディアンの意外性に似ているから。」と言われます。ドイツ語では「アルト・バイバーンマー(老婦人の夏)」と言い、「蜘蛛が糸を

使って移動し、その空中に漂う蜘蛛の糸がゲルマン神話の運命の糸を紡ぐ老女を思わせるから」とか、「夏は若い女性のイメージだから、季節外れの暖かさは年老いた女性の様」などと言われています。この様に日本では春、欧米では夏と言う事は民族性の異いからと思われませんが、何れにしても厳しい冬の前に訪れる好天は、東西を問わず印象的である事に違いはない様であります。

◇ 講 演

“学ぶ心、遊ぶ心”

名和博物館々長

名和 秀雄 氏 (紹介 武内君)



私は東京生れの東京育ちなんです。小学校2年生頃のことですが、親父が花が好きでした。広い庭に鳳仙花が一杯咲いていました。或る日の夕方、この鳳仙花に雀蛾が飛んできました。蝶々はとまるのですが、蛾はとまらないで空中に浮かんだまま、口をちょっと出して蜜を吸うんです。私はこれに興味を持ちましてね。「飛んでいる蛾は、脚をどうしているか？ 口がどこから出るか？」鳳仙花の咲いている中に寝て観察しました。私は2年生の頃に蛾の生態を知ったのです。今でも鳳仙花を見ると、その時の感動が蘇ってきます。私は今も昆虫の研究をしているのですが、観察していて感動がなければ何んの意味もないと思います。

幼稚園では子供達に、朝顔の数を数えて来させる。まったくつまらないと思いますね。朝顔は、朝見ると露に濡れて美しい。そういう感動がなかったら、何にもならないと思うのです。朝顔の数を数えた子が、将来、朝顔を造りますか。造りませんよ。私の教え子で、蛇の好きな子がいました。採集に行った時、蛇を獲えたんです。お茶の缶に入れ、持って帰ったんです。そんな事知らない母親が、部屋の掃除をしていたら見馴れないお茶の缶があり、中でごそごそ音がしている。何んだらうと思って開けて見てビックリ。「キャッ!! 蛇だ。」勿論、蛇は逃げてしまったのですが、学校から帰った息子はそれを聞いてペソをかき、1週間学校を休んだそうです。その子は

東京工大に入り、大学院を出て昨年33才で工学博士になったのですが、北里大学へいきましてお医者さんと関節の研究をし、マジックハンドか何かの研究をしています。その子の結婚式に呼ばれ挨拶をせよと云われまして、私はそこで蛇の話をしたんです。親戚の方も皆知っていますからね。3分間スピーチで

「君は蛇が好きだったから、今、関節の研究をしているのだろう。」と言ったんです。本人も子供の時の因子が作用したことは、否定できないと言っていましたよ。すごく印象深かった事、好きだったものが生活につながったら、こんな素晴らしい事はありません。昆虫の研究なんて儲かるもんじゃないんですが、軍隊にいた時、大変得したことがあるんです。食糧事情の悪い時で、まともに食事ができないんですが、ハエ取り競争で私は困らなかった。昆虫を知っていたからです。マーガレットにとまっているミドリカミキリを取って鬚とかたい羽根を取り潰せば、上等兵にはカミキリかハエか区別がつかないんですよ。それでいつも食事にありつけたんです。色々やっているようですが、満足感がなかったら本当につまらないと思いますよ。毎年外国へ行くのですが、昨年パラワン島へ行きました。採集の用意をしていると、子供が寄って来るんです。虫取りのため網を3〜4ヶ持っていますから、連れていきました。素晴らしい蝶や蜻蛉がいるんですよ。ジャングルで4時間かかって色々な虫を300匹ばかり採って帰り分類していると、年配の先生がびっくりしてましてね。此の先生は「20ペソ使ったが、一匹も採って来なかったよ。」と言っていました。こちらは子供と一緒に跳び廻っていますからね、命令するだけでは人は動かないんですよ。

カレンダーにスウェーデンの諺で「人を走らせようと思ったら、先づ自分が走ることだ。」と書いてありました。当たり前のことです。自分が動いて始めて人が動く。そして楽しくやりたいなあと常々思っています。

(文責 木全)

◇ 11月度理事役員会議題

1. 新入会員候補者承認の件
2. 1986〜87年度理事役員の内
3. 第260地区分割の件
4. 斉藤康二君に対する賜暇についての件

◇ 例会変更のお知らせ

名古屋大須R.C. 12/12(木)家族忘年会の為、18:30より

◇ 次回例会(12月3日)

講演 “肺ガンの予防について”

愛知県がんセンター副所長

富永 祐民 先生 (紹介 深見君)